



カンファレンスコール用資料

2008年度 第2四半期決算

(2008年4月1日～2008年9月30日)

開催日時 2008年10月31日(金)
18:30～19:15



第一三共株式会社

2008年度 上半期実績（前年同期との比較）

（単位：億円、金額上段は対売上高構成比）

	2007年度 上半期 実績				2008年度 上半期 実績			
	①	非医薬品 事業	欧州子会社 決算期変更	特殊要素 除外後②	③	単純比較	実質比較	備考
						③-①	③-②	
売上高	100.0% 4,437	100.0% 164	100.0% 141	100.0% 4,132	100.0% 4,063	-374	-69	提携品目の返還(-76億円)、為替変動影響(約-140億円)、薬価改定といった減収要素が、販売数量拡大、AZOR一時金収入(47億円)などの増収要素を相殺。
売上原価	25.5% 1,132	89.2% 146	25.7% 36	23.0% 950	24.0% 976	-156	27	原価率+1.0P（'07.10月からパナルジンの取引スキームを変更したことが主因）
販管費	35.7% 1,583	12.2% 20	58.7% 83	35.8% 1,480	40.5% 1,647	64	167	・第一三共 +42億円（前年同期、人件費関連一時益計上等） ・DSI +57億円（要員'07.9末2,173→'08.9末2,856人） ・DSE +58億円（要員'07.9末1,723→'08.9末2,031人） EVISTA販売権償却費増等） ・U3のれん償却費 +12億円
研究開発費	17.6% 783	2.9% 5	2.3% 3	18.7% 775	20.3% 823	41	49	・優先プロジェクト進展等に伴う増
販管費計	53.3% 2,366	15.1% 25	61.0% 86	54.6% 2,255	60.8% 2,471	105	216	
営業利益	21.2% 939	-4.3% -7	13.3% 19	22.4% 927	15.2% 616	-323	-311	・営業利益段階の為替変動影響（約-25億円）
経常利益	22.7% 1,007	-4.3% -7	15.4% 22	24.0% 992	14.7% 596	-411	-396	・営業外収益 -23億円（受取利息の減等） ・営業外費用 +62億円（欧州子会社無形固定資産の為替評価差損、米国子会社擬似ストックオプション評価損等）
当期純利益	13.6% 602	5.6% 9	14.3% 20	13.9% 573	8.4% 340	-263	-233	・特別利益 -15億円 ・特別損失 -27億円 （前年同期事業統合関連損失 40億円計上等）

* 本資料では、2007年度までにグループ外化した非医薬品事業の業績、並びに欧州子会社の決算期変更による影響を特殊要素としてとらえています。従いまして、実質的な比較を容易にするために、これらの影響を除外した業績を特殊要素除外後として表示しております。

2008年度上半期実績（当初予想との比較）

（単位：億円，金額上段は対前年同期比率）

	2008年度 上半期			
	当初予想 (7月公表)	実績	対予想 差異	備考
売上高	<-3.2> 4,000	<-1.7> 4,063	63	・為替変動影響 約+85億円、DSI +59億円、LPI +55億円 ・DSE -49億円、DSHC -20億円
売上原価	<5.8> 1,005	<2.8> 976	-29	
販管費	<11.1> 1,645	<11.3> 1,647	2	
研究開発費	<9.7> 850	<6.3> 823	-27	
販管費計	<10.6> 2,495	<9.6> 2,471	-24	
営業利益	<-46.1> 500	<-33.6> 616	116	・営業利益段階の為替変動影響（約+13億円）
経常利益	<-45.6> 540	<-39.9> 596	56	・営業外収益 +1億円 ・営業外費用 +61億円（欧州子会社無形固定資産の為替 評価差損、米国子会社擬似ストックオプション評価差損等）
当期純利益	<-47.6> 300	<-40.7> 340	40	・特別利益 -17億円 ・特別損失 +9億円

* 対前年同期比率は特殊要因除外後の実質比較

2008年度業績 修正予想

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2008年度 上半期		2008年度 下半期				2008年度		
	当初予想 (7月公表)	実績	当初予想 (7月公表)	修正予想 (年度修正予想から上半期実績を差引)		備考	当初予想 (7月公表)	修正予想	
				差異				差異	
売上高	100.0% 4,000	100.0% 4,063	100.0% 4,400	100.0% 4,337	-63	・LPI 約+20億円、DSE 約+49億円 ・為替読替影響 約-95億円、国内医薬 -54億円 DSI -39億円	100.0% 8,400	100.0% 8,400	0
売上原価	25.1% 1,005	24.0% 976	24.5% 1,080	24.8% 1,074	-6		24.8% 2,085	24.4% 2,050	-35
販管費	41.1% 1,645	40.5% 1,647	38.2% 1,680	39.3% 1,703	23	・U3のれん償却費 +25億円	39.6% 3,325	39.9% 3,350	25
研究開発費	21.3% 850	20.3% 823	19.1% 840	22.5% 977	137	・CS-8958など開発進展に伴う増 ・U3分研究開発費増 ・パイプライン強化	20.1% 1,690	21.4% 1,800	110
販管費計	62.4% 2,495	60.8% 2,471	57.3% 2,520	61.8% 2,679	159		59.7% 5,015	61.3% 5,150	135
営業利益	12.5% 500	15.2% 616	18.2% 800	13.5% 584	-216	・営業利益段階の為替読替影響 (約-13億円)	15.5% 1,300	14.3% 1,200	-100
経常利益	13.5% 540	14.7% 596	19.1% 840	12.3% 534	-306	・営業外収益 -21億円(資金運用益減) ・営業外費用 +69億円(欧州子会社無形固定資産 の為替評価差損、Ranbaxy関連借入金利息等)	16.4% 1,380	13.5% 1,130	-250
当期純利益	7.5% 300	8.4% 340	11.4% 500	7.2% 310	-190	・特別利益 +17億円 ・特別損失 +6億円	9.5% 800	7.7% 650	-150

主要製品の状況

(単位：億円)

商品名		2008年度 当初予想 (7月公表)	2008年度 修正予想					
			上半期 実績	対予想 差異	年度		対前年同期増減	
					対予想 差異	単純比較	実質比較	
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>	2,140	1,046	46	2,180	40	224	288
	レボフロキサシン<合成抗菌剤>	1,040	493	-7	1,020	-20	-67	-67
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	625	319	-11	605	-20	-160	-144
日本	カルブロック <高血圧症治療剤>	140	60	-10	140	0	38	38
	アーチスト <高血圧症治療剤>	220	110	0	220	0	9	9
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	140	64	4	140	0	16	16
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	390	189	-1	400	10	64	64
	オムニパーク <造影剤>	280	146	6	290	10	-22	-22
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	90	35	-5	85	-5	31	31
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	230	168	53	305	75	-6	-6
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	250	125	10	260	10	33	33

注：決算期変更により2007年度上半期はDSEについて、2007年1月～2007年9月の9ヶ月分を計上。
また、これらによる影響を除外した増減額を実質比較として表示。

主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	<ul style="list-style-type: none"> CS-8080 DB-772d 	<ul style="list-style-type: none"> <u>DU-176b</u> オルメテック/ 利尿剤合剤 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>フラスクレル (ACS-MM)</u> <u>CS-8635</u> オルメテック効能追加 (#) <糖尿病性腎症> オルメテック/カルブロック合剤 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>フラスクレル (ACS-PCI)</u> セビカー (欧)
糖代謝	<ul style="list-style-type: none"> CS-1036 (#) 		<ul style="list-style-type: none"> リホク'クリタゾン 	
感染症		<ul style="list-style-type: none"> CS-8958 	<ul style="list-style-type: none"> レホ'フロキサシ注 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> レホ'フロキサシ 高用量 (#)
がん	<ul style="list-style-type: none"> CS-7017 U3-1287 	<ul style="list-style-type: none"> ニモツ'マフ' (#) CS-1008 		
免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> CS-0777 	<ul style="list-style-type: none"> SUN13834 		
骨・関節			<ul style="list-style-type: none"> <u>デ'ノスマフ' (#)</u> ロキソニケル (#) 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ヒトク'レリン 	<ul style="list-style-type: none"> メマンチン塩酸塩 (#) シロ'シ 	<ul style="list-style-type: none"> フェロン/リハ'ヒリン 併用療法 (#)
合計	6	7	10	4

#: 日本でのみの開発

- グローバル(日本以外)で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載
- アンダーライン(青字)は現在の優先プロジェクト

2008年7月
以降の変更点

- 新規追加 フラスクレル (ACS-MM)、CS-1036 (日)
- ステージ変更 ニモツ'マフ' (日) [P1⇒P2]
SUN13834 [P1⇒P2]
- 開発中止 AJD101

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126

FAX: 03-6225-1132

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

つくっているのは、希望です。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社